

## 我が国の将来の航空交通システムに関する長期ビジョンの名称(案)

## 前提:

- ・ 我が国の将来の航空交通システムが目指すべき方向性を示すような名前とする必要がある。
- ・ 我が国の将来の航空交通システムの構築にあたっては、以下の7つの協調が不可欠。
  - 将来のシステムを構築するためには、産官学の協調した取組みが必要。
  - 運航者が希望する飛行を可能な限り実現するため、運航者と管制機関の間の協調が必要。
  - 地上と機上の統合的な運用が重要となるため、地上システムと機上システムの協調が必要。
  - システムによる自動化が進む中、人と機械の協調(役割分担)が必要。
  - 国際的な相互運用性を確保し、シームレスな航空交通を実現するため、国際的な協調が必要。
  - 安全を確保しつつ、柔軟な運用を可能とするため、軍と民の協調が必要。
  - 騒音問題や CO2 削減などの環境問題に対応するためには、社会全体との協調が必要

## 【案1】

**CARATS** : Collaborative Actions for Renovation of Air Traffic Systems

## 【案2】

**EAST CORE** : East Air Space and Transport Collaborative Renovation

## 【案3】

**J CENTER** : Japan-Collaborative ENroute and Terminal Environment  
Renovation